

会期：2024年10月9日(水)～11日(金) 会場：幕張メッセ 主催：RX Japan株式会社
同時開催：第18回 GARDEX、第14回 TOOL JAPAN



RX Japan株式会社は、10月9日(水)～11日(金)の3日間、幕張メッセにて「第14回 農業WEEK (通称：J-AGRI)」を開催いたします。本展は2011年より開催されている日本最大※の農業・畜産の総合展で、最新の農業機械やスマート農業製品、肥料や土壌改良材、6次産業化製品・サービス、畜産資材など国内外から900社が出展します。

アクアポニックス・陸上養殖ゾーンを初開催！

2025年開催の大阪・関西万博のパビリオンテーマとして設置が決定しているアクアポニックス。持続可能な循環型農法として注目され、また日本の食料自給率低下を止めるべく、陸上養殖の技術も進化し異業種企業の参入も活発化しています。このような背景を受け、農業WEEK内で新規ゾーンとして開催が決定しました。アクアポニックス・陸上養殖システム、飼料・採卵技術、水温調節・環境管理システムなど、持続可能な農業を実現するための製品を取り扱う企業が多数出展します。農業の未来を担う最新の製品をぜひ取材にお越しくください。

●次世代の循環型農業！アクアポニックス・陸上養殖 特集≫

・投影スライドの撮影、講演内容の録音・動画撮影は禁止です。ただし、プレス腕章を付けている方のみ、会場内での講演風景の撮影が可能です。

セミナーも開催
無料で聴講できます！

異業種参入が相次ぐアクアポニックス
参入企業3社が語るその魅力とは？

濱田 健吾氏
(株) アクボニ 代表取締役

飯沼 正樹氏
(株) スーパーアプリ 代表取締役
マナの菜園 代表

露木 健勝氏
江ノ島電鉄 (株)
常務取締役 経営管理部長

※同種の展示会との出展社数の比較。掲載の出展社数は8月1日時点の出展社数の最終見込み数字であり開催時には変動する可能性があります。また出展する契約企業には共同企業・グループ企業・パートナー企業を含みます。

次のページもご覧ください▼

その他、持続可能な農業を実現する製品が多数！

他にも地球温暖化や異常気象が深刻な問題となる中、持続可能な農業の実現に向けた新たな取り組みが求められています。農業WEEKでは、国内から約900社が出展し、地球温暖化に対応した革新的な農業技術や製品も一堂に集結します。詳細な出展製品は下記よりご覧いただき、ぜひ取材にお越しくください。

●地球にやさしく！環境に配慮を！SDGsを実現する製品、サービス》

環境にやさしい農業を実現するために様々な技術が出展。有機栽培、有機肥料、CO2削減、フードロス、アクアポニックス、再生可能エネルギー・・・など。

●対応できていますか？”CO2“削減製品》

既存のハウスのCO2削減のための設備導入や、新規で農業を始める際の最新設備など、CO2削減が可能な製品が一堂に出展。みどりの食糧システム戦略の影響もあり、必見の内容。

●自動化や環境配慮を！最先端ハウス製品》

環境制御や自動収穫ロボットはもちろん、CO2削減や再生可能エネルギーを利用した環境配慮型のハウス製品が多数出展。

●バイオマス特集～農畜産の現場で、バイオマス活用を！～》

もみ殻燃料から農業残渣バイオマスまで、身近な所から始められる仕組みが勢揃い。省エネルギー型の灌漑システムや、温暖化による害虫被害を軽減するための生物農薬など、環境に配慮した技術が多数展示。

●新規参入を検討している方にもおすすめ！植物工場製品》

LED照明や発電機などの製品から、栽培システムそのものまで、植物工場に関する製品が数多く出展します。限られた資源の中で高品質な作物を安定的に生産する方法が提案される。

●最先端の農業はこれだ！圧倒的効率化をかなえる農業ロボット・ドローン》

年々進化する、農業ロボットやドローン機器。最新の製品が会場に集結します。



取材のご登録は》 <https://www.jagri-global.jp/hub/ja-jp/press.html>

担当：八反田 mail:jagri.jp@rxglobal.com TEL:03-6739-4111 展示会HP：www.jagri-global.jp/hub/ja-jp.html